

## 江南区自治協議会 令和2年度 第2回 まちづくり部会 会議概要

### 【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第2回まちづくり部会
- 日時：令和2年7月22日（水）午後2時05分～午後3時10分
- 場所：江南区役所 301 会議室
- 出席委員：坂井委員、田村委員、小野委員、石崎委員、見田委員、豊岡委員、小林委員  
以上7名（欠席：畑野委員、長谷部委員、塚原委員 以上2名）
- 事務局：建設課長、同課係長、産業振興課係長 地域総務課長補佐 以上4名
- 傍聴0名

### 【審議内容等】

#### 1. 令和2年度のまちづくり部会の取り組みについて

- ・前回に引き続き、令和2年度の取り組みについて意見交換を行った。

#### <主な意見>

##### ●イベントでの江南区 PR の代替の取り組み

- ・様々なイベントが中止している状況の中で、代替の取り組みは、江南区親善大使を活用した啓発物による PR にした方がよいのではないかと。
- ・前回意見として挙げた子ども向けのマスクに貼れるシールについて、昨年度に作成したものが2,000枚ほどあるが、マスクに貼ることを想定していないため、粘着性の高いもので改めて作成してはどうか。
- ・子ども向けに配布した際、親御さんにも江南区の特産について知ってもらうため、保育園等の協力も得て周知を図った方がよいのではないかと。

⇒マスクに貼り付け可能なもので、事業者から見積を取り検討することとした。

##### ●公共交通に関する勉強会

- ・講演会は実施の方向とするが、内容は特定の地域に特化した内容ではなく、江南区全体を見たときの区バス・住民バス、目的バス、デマンド交通など、広い視点でどのような手法があるのかを講演いただきたい。
- ・区役所だよりで区バス・住民バスの収支状況を見た。一部のバスでは厳しい収支となっているところもあるようなので、まずは安定的な運行となるように各バスで取り組めることを検討することも必要。
- ・講師については、想定する講師が引き受けてくれるかわからない部分もあるため、まずは事務局から意向を確認いただき、対応できない場合は、他の講師を検討する形としてはどうか。（リモートでの講演も要検討）

- ・実施時期については、講師の日程にもよるが、11月頃もしくは年度末を目途にしてはどうか。

⇒想定している講師に講演会について打診し、今後の日程等を固めることとした。

## 2. その他

- ・建設課より、本会議で説明のあった都市計画マスタープランにおける区別構想の更新について、建設課で案を作成し、その後部会にも情報提供する。これまでのまちづくりの方向性を踏まえた中で、これまでの10年間で新たに盛り込むべき内容を加筆する形としたい旨説明があった。

# 江南区自治協議会 令和2年度 第2回 安心安全部会 会議概要

## 【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第2回安心安全部会
- 日時：令和2年7月22日（水）午後2時～午後3時
- 場所：江南区役所 3階 大ホール
- 出席委員：石井委員、阿部委員、石澤委員、今井委員、山本委員、櫻田委員、山崎委員、藤田委員、和澄委員、佐藤委員 以上10名
- 事務局：地域総務課副主査 以上1名
- 傍聴：0名

## 【審議内容等】

### 1 令和2年度の事業について

今年度安心安全部会で取り組む事業について、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・九州などで大雨の被害が出ている。江南区は川に囲まれているので、大雨に対しての備えや、広報、勉強会などを検討してはどうか。
- ・九州で被害の出ている地区はハザードマップで洪水などが起こりうる区域とも重なっていたと聞くので、江南区版ハザードマップを再度お知らせするのはどうか。
- ・指定避難所は大雨のときには使用できない避難所もあるので、使用できない避難所を周知するのはどうか。
- ・テレビではゴムボートで救助されているような映像が流れるが、子ども用のプールなどもそのような非常事態に活用できると聞く。そういった、普段使用しているもので災害時にも使用できるものの紹介や「イザ！カエルキャラバン」でもやっていたペットボトルライフジャケットなどの防災アイデアの紹介などはどうか。
- ・避難所の運営訓練などができないか。

事務局（防災担当）とも相談しながら、事業検討することとする。



# 江南区自治協議会

## 令和2年度 第2回 環境・教育部会 会議概要

### 【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第2回環境・教育部会
- 日時：令和2年7月22日（水）午後2時10分～午後3時
- 場所：江南区役所 302会議室
- 出席委員：渡辺啓子委員、上村委員、横木委員、横田委員、湯田委員、中野委員、高橋委員 以上7名（欠席：渡邊寿子委員、小形委員、間島委員 以上3名）
- 事務局：区民生活課長、江南区教育支援センター所長、亀田地区公民館長、亀田図書館長、地域総務課係長 以上5名
- 傍聴0名

### 【審議内容等】

#### 1 令和2年度 環境・教育部会の取り組みについて

令和2年度の取り組みについて、引き続き意見交換を行った。

##### <事務局より報告>

- ・前回意見のあったオンラインゲーム等の取り組みについては、実施場所のインターネット環境などハード面で実施は難しい。
- ・子ども達の文化・スポーツの発表について、主に中学校のスポーツ系は代替の大会が実施されるが文化系は代替の大会がない。他区では、区役所庁舎で美術部の絵画の展示や合唱の発表会を自治協の取り組みとして開催する。
- ・イベントの実施だけに捕らわれず、部会の所管分野について議論する時間を設け、その中から取り組みを検討してもよいのではないか。

##### <主な意見>

- フロアカーリング体験交流会、体力測定イベントについて
  - ・本日時点で決めきるものではないが、都心では新型コロナウイルスの第2波とも思われる状況となっている中で実施は難しい。中止を前提として、その他の取り組みを検討した方がよい。
  - ・今回実施しなくても、次年度以降状況を見て復活する形でもよいのではないか。
  - ・フロアカーリングを楽しみにしていた子ども達もいるため、別の形でも、子ども達に関われる取り組みを実施したい。
- その他の取り組みについて
  - ・コロナ禍の中で、子ども達から何か作ってもらうなど、子ども自身に社会貢献を感じてもらえるような取り組みができないか。
  - ・子ども達の交流にはならないが、絵画展示などは活動を知ってもらう機会としてはよいのではないか。

- ・親善大使のぬり絵を書いてもらった保育園などに、絵を提供してもらい掲示するのもよいのではないか。
- ・過去に実施した「子ども達の声を聴くプロジェクト」について、実施から数年経ったことから、改めて文書で子ども達に、地域の魅力や課題をあげてもらい、それを環境・教育部会の広報紙として作成してみてはどうか。

⇒次回の部会に向けて、各委員が一つ以上取り組みの案を検討し、第3回の部会で発表後、さらに取り組みを検討することとした。